

くろつち便り

今月の内容

人権フォーラムin肝付(2/11)
コロナをものとせず金曜集会(3/6)
(ほっとする話)皆さ～ん、奥方の呼び名は？
九条の会新聞広告／野草折々-33-サギゴケ
退職者を送り励ます会(2/22)



↑会報QRコード

人権フォーラム in肝付

2月11日 演劇「光の扉を開けて」

広島盈進中学高等学校ヒューマンライツ部&OGによるプレゼン

テーション、すばらしかった。



演劇「光の扉を開けて」は、小学生から大人まで、年の差や文化を越えて演じられた。

「エイズのこと」「ハンセン病のこと」、まだどこかに他

人事と捉えている自分がいて、心にグサツときた。「共に生きる」ということを改めて考えなければと思った。

近くでこういう経験ができたことに感謝！ (文 樋園光子)
(写真はパンフレットより)

広島盈進中学高校Human Rights部



ハンセン病を知ること、元患者の方々との交流、学習が積み重ねられ、それらがしっかり受け継がれていることに感銘を受けた。

短いプレゼンテーション時間内に大事なことが詰め込まれ、中身の濃い内容だった。

6日、コロナをものとせず金曜集会

突然の休校措置、安倍自身、何の科学的根拠もないと認めた形だ。答弁の中で「事態が刻々と変わるので・・・」というのがあったが、このように先を読まない措置を普通「場当たりの」と言う。今回の流行はほとんど家庭内感染ということを見ると、いかほどの効果があるのか。今回の措置をあざ笑うかのように、東京渋谷の辺りには家庭

にいるはずの高校生がたむろしているという。

行事やイベント中止の流れを受けて、8日に予定していたストップ川内原発の集会は中止、代わりに1週間街宣カー4台で県内を街宣。15日、東地区公民館で予定し

ていた平井先生の講演も中止。

そんな中、金曜集会はいつもの通り実施できました。たまに車中から振り向いてくれる人やこっくり頷いてくれる人がいると、励みになります。微力だけでも続けていきたい。次回は4月3日です。



憲法9条を守り、活かそう 意見広告 安倍9条改憲にNOを突きつけよう！

くろつち便り2月号でもお願いしましたが、5月3日南日本新聞掲載の意見広告への協力お願いします。

個人:1口1,000円以上
〆切:4月15日(水)
振込用紙もありますが、大隅の分は、松下徳二さんが一括して鹿児島事務所に持って行かれるそうです。まだの方は早めに。(個人個人の送付だと、いくらか手数料を引かれて残りが事務局に行くのだそうです。)

連絡先:松下徳二さん
電話:0994-(44)9687
携帯:090-1923-7306

ほっとする話 文:某退女教会員

「皆さ～ん、奥方の呼び名は？」

昨夏、東京から夫の兄家族7人が、三年ぶりに帰省。親族も集まってワイワイ、ガヤガヤ。飲み組、食べ組、語り組に自然にグループ結成。

夫が「〇〇さ～ん」と誰かを呼ぶ声が・・・しばらくして姪の子(小1)が、「叔母ちゃん、叔父ちゃんがさっきから呼んでいるよ。」と来た。



「えっ???.何???.」結婚以来45年、「R子!」「R!」と呼び捨てに慣れているので「さん」付けは他人様を呼んでいるとぼっかり思っていた。しかもそれも、夫の身内だけの中で「さん」とは。「何ごっね。『さん』なんて、誰がこっか分からなかったが。初めっじゃがね。ひったまがっど。」

と飲み組の方へ。普段を詳しく知らない人達はきっと「カカア天下」と思ったに違いない。

「はがいい~~~~」と思いつつ、一同笑った一夜だった。

ありがとう そしてこれからも

退職者を励まし送る会 鹿教組大隅支部

2月22日(土)、肝属支部主催の「退職者を励まし送る会」がありました。

今年の退職予定者は8名で、この日都合のつかない方もおられました。4名が参加できました。

くろつち会からは14名参加して、4名をねぎらいました。

池田浩子さん



- ・37年の教師生活でした。
- ・新採の頃、分会員と校長とのやりとりに驚きました。
- ・学習を重ねて、おかしいことはおかしいと言うべきだと学びました。
- ・随分、仲間に助けられました。

伊集院達也さん



- ・37年の教師生活、今までは見送る側だったけど「遂にこの日が来たか」という実感はありません。
- ・日教組批判が強い頃で、組合加入の決心がつくまで、時間を要しました。
- ・組合員、子ども達、保護者に様々教えられてこの日があります。
- ・子ども達が好きで、再任用を希望しています。

関下俊郎さん



- ・38年の教師生活でした。
- ・初任地は奄美の阿木名小中学校で、自然に組合員になっていました。
- ・思い出はスト参加や久保巨選挙。
- ・組合運動の基礎を築いた「阿木名会」は、38年続いています。
- ・初めての年休は、酒を飲み過ぎて、用務員室でした。
- ・再任用を希望していますが、日教組のスローガンを忘れずに勤めたい。

湯地勝弘さん



- ・7つの小中学校と本部専従を経験しました。
- ・ウィルス性の病気で休職も取りました。
- ・ゆっくり休んでリフレッシュしたいです。
- ・仲間を大切にしてください。



都合で参加できなかった先生方は、川畑美代子さん、小村建治さん、永野護さん、二川明美さん等です。
くろつち会への加入働きかけを！



写真 今村久雄

2019年3月23日 肝属川の河岸段丘で撮影



野草折々-33-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

サギゴケ (ゴマノハグサ科)

高さ5~10cmほどの多年草で、田の畔や湿った場所に群生する。花の様子が鷺に似ていることからサギゴケと名付けられた。花の色が紫色のものをムラサキサギゴケといい、純白のものをサギゴケという。